

平成25年(2013年)3月期 決算説明会

取締役社長 三島 康博
専務取締役 佐々木 康夫

2013年5月13日
フタバ産業株式会社
(#7241)

1. 平成25年(2013年)3月期 決算概況【連結・個別】

2. 平成26年(2014年)3月期 通期業績見通し【連結・個別】

3. これまでの振り返りと今後の動向

連結決算概況

〈連結〉平成25年(2013年)3月期 決算要約

4

金額単位: 億円

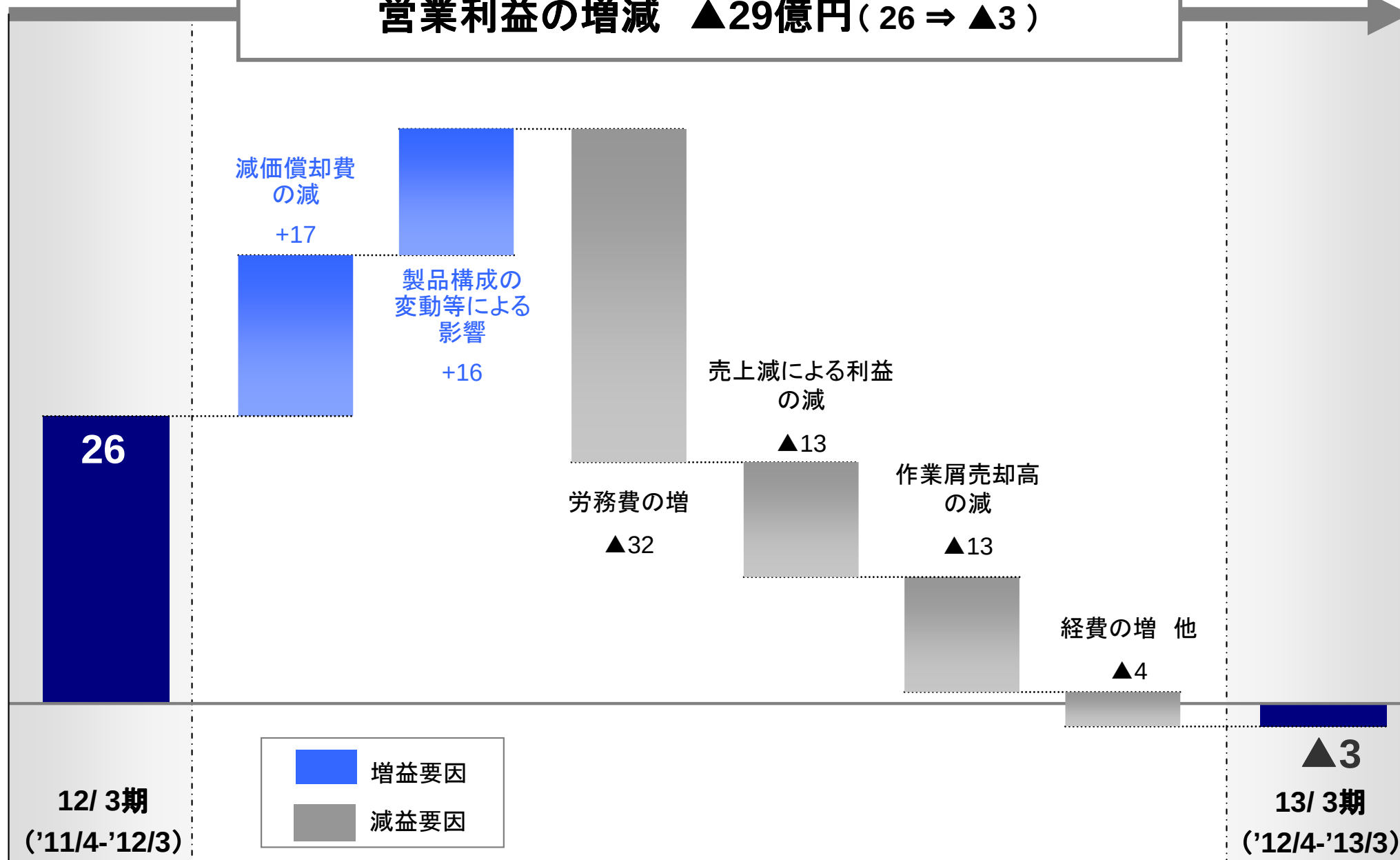
	13/ 3期 累計 ('12/4-'13/3)	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	対 前期比	
			増減	増減率
売上高	3,652	3,720	▲68	▲1.8%
営業利益	▲3	26	▲29	—
経常利益	▲11	3	▲14	—
当期純利益	▲40	▲45	+4	—
為替レート (1ドル)	83円	79円	4円の円安	

〈連結〉営業利益の増減分析（対 前期比）

5

金額単位：億円

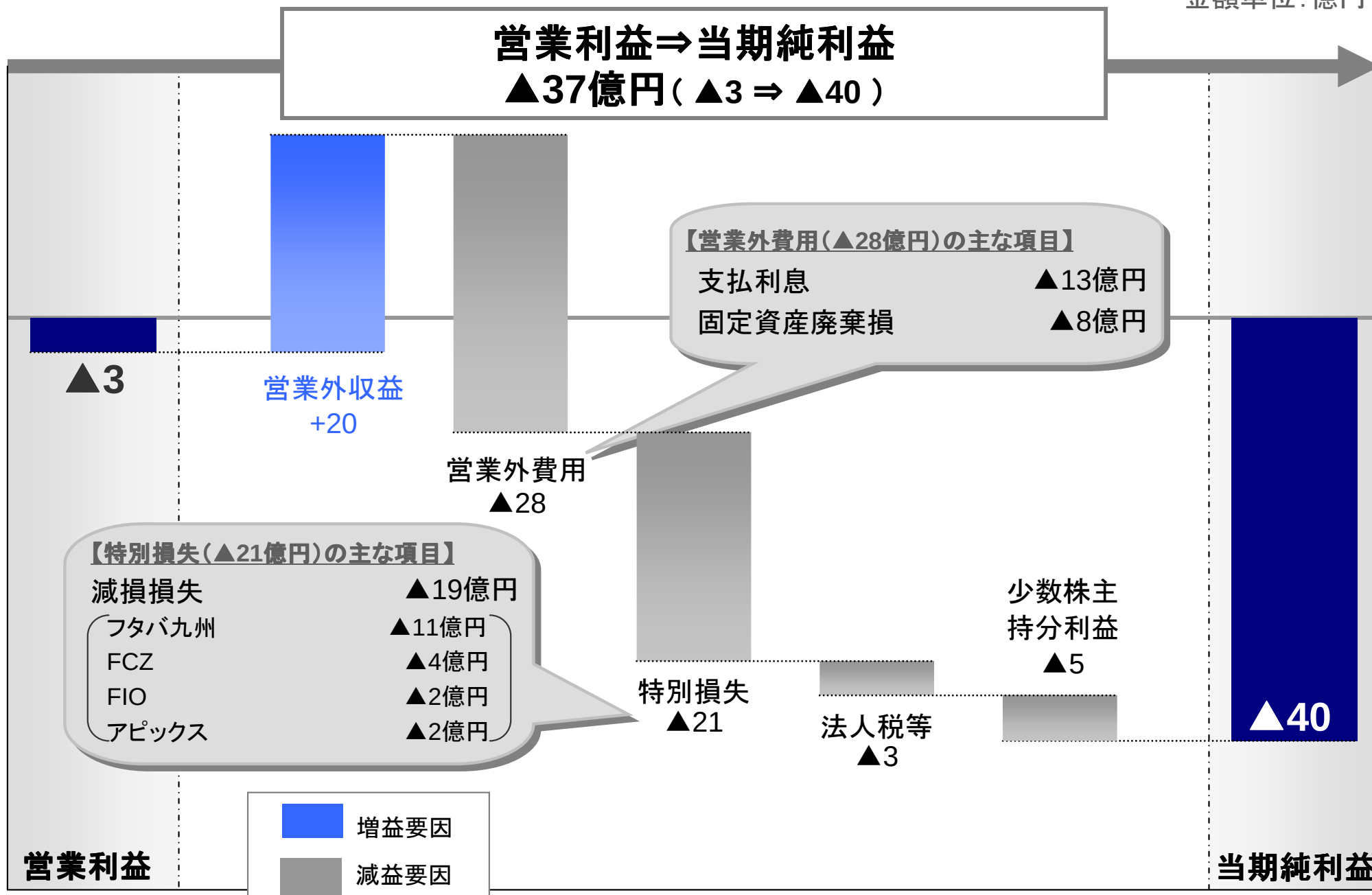
営業利益の増減 ▲29億円（26 ⇒ ▲3）



〈連結〉営業利益以下の分析

6

金額単位: 億円

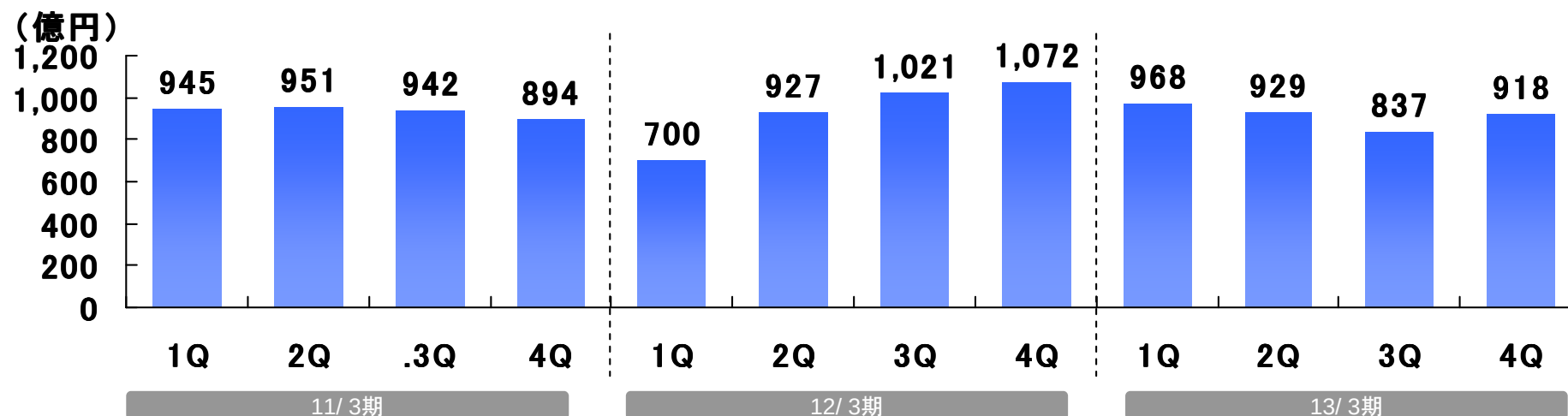


〈連結〉売上高と営業利益の四半期推移

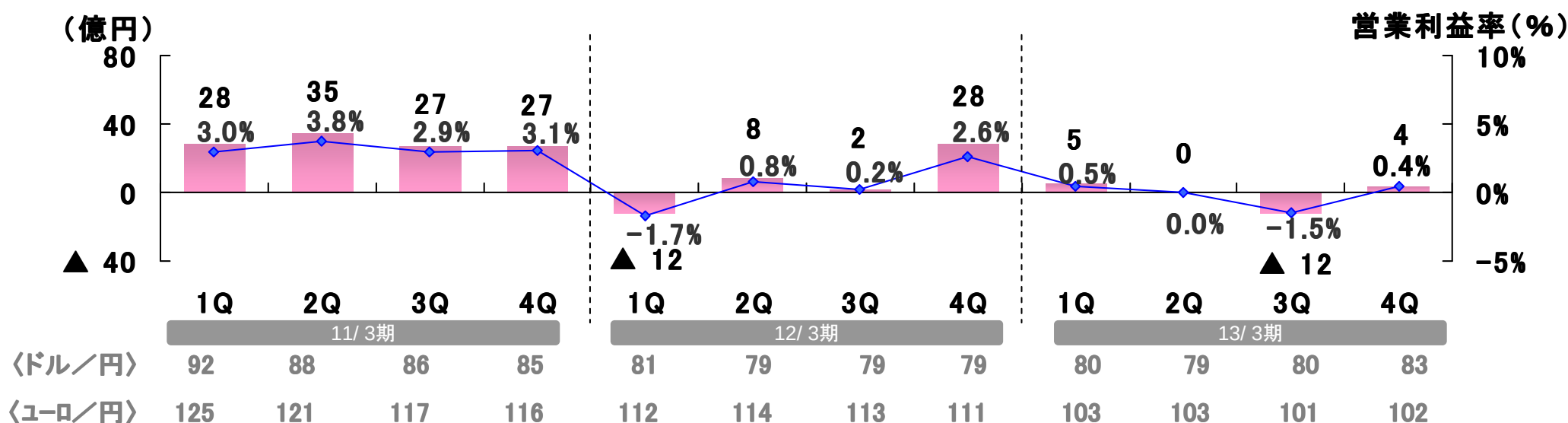
7

◆ 売上高の四半期推移

金額単位: 億円



◆ 営業利益の四半期推移



〈連結〉地域別売上高と営業利益

8

金額単位: 億円

		13/ 3期 累計 ('12/4-'13/3)	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	対 前期比	
				増減	増減率
日本	売上高	2,470	2,544	▲73	▲2.9%
	営業利益	10	▲16	+26	—
北米	売上高	591	452	+139	+30.8%
	営業利益	▲22	▲14	▲8	—
欧州	売上高	186	234	▲48	▲20.6%
	営業利益	▲7	0	▲7	—
アジア	売上高	538	609	▲71	▲11.8%
	営業利益	14	56	▲41	▲74.4%
連結調整	売上高	▲134	▲119	▲14	—
	営業利益	1	0	+0	—
合計	売上高	3,652	3,720	▲68	▲1.8%
	営業利益	▲3	26	▲29	—

〈連結〉地域別営業利益増減要因

9

金額単位: 億円

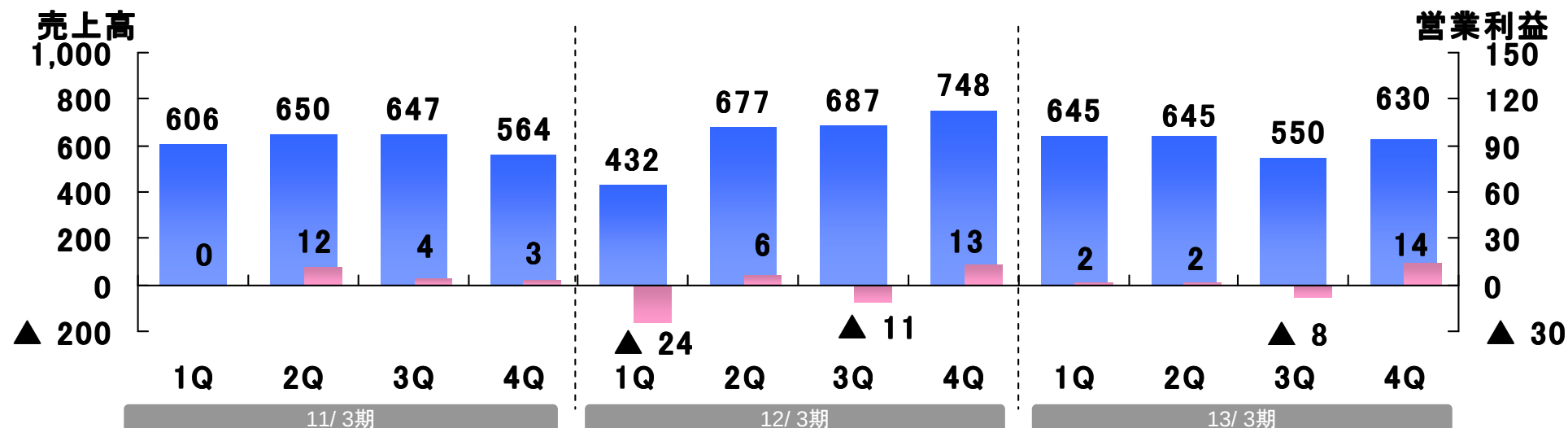
	13/ 3期 累計 ('12/4-'13/3)	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	増減	増減要因
日本	10	▲16	+26	フタバ本体+27の大幅改善 平泉 アクアが好調で増収増益
北米	▲22	▲14	▲8	ロイヤルティ増▲5
欧州	▲7	0	▲7	欧州市場の冷え込みにより収益性悪化
アジア	14	56	▲41	中国反日デモによる生産性悪化 (双協▲10、天津双叶▲13、広州▲11) 新拠点立上げ費用▲6
消去	1	0	+0	
合計	▲ 3	26	▲29	

〈連結〉地域別四半期業績推移

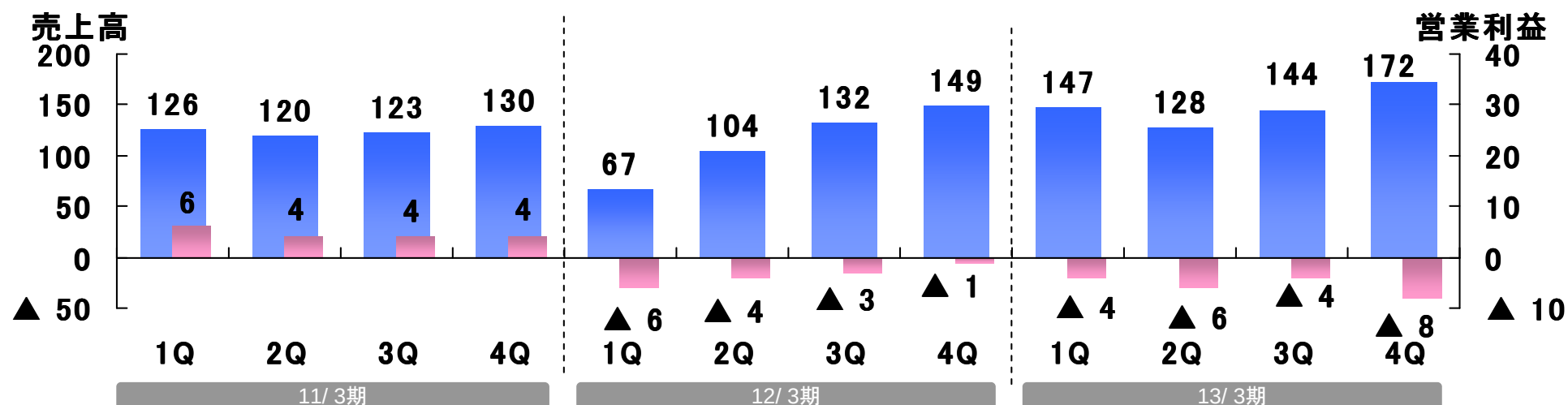
10

日 本

金額単位: 億円



北 米

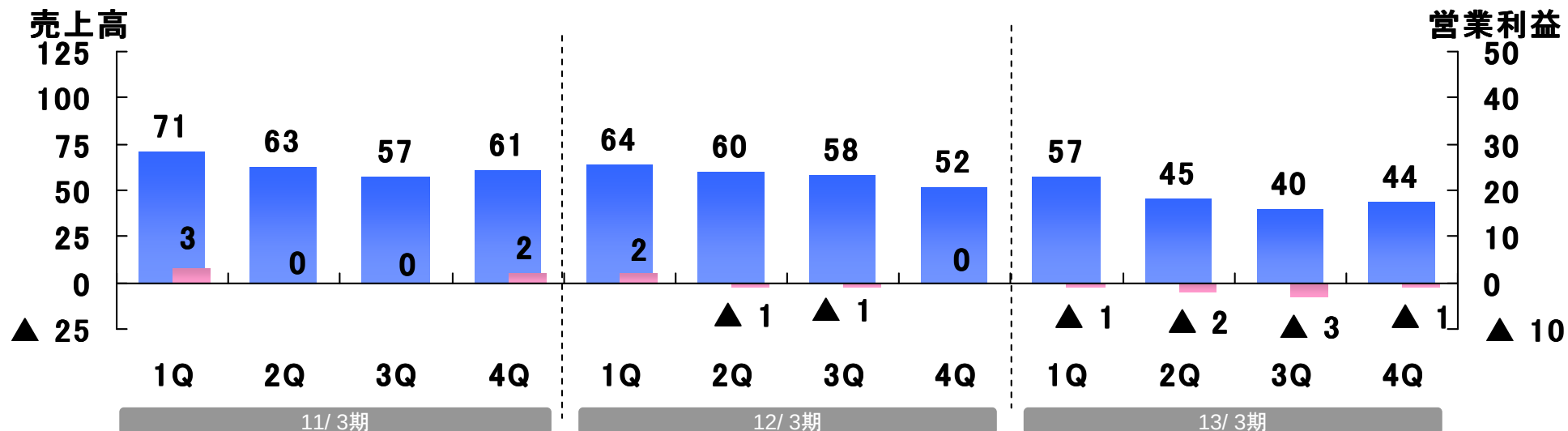


〈連結〉地域別四半期業績推移

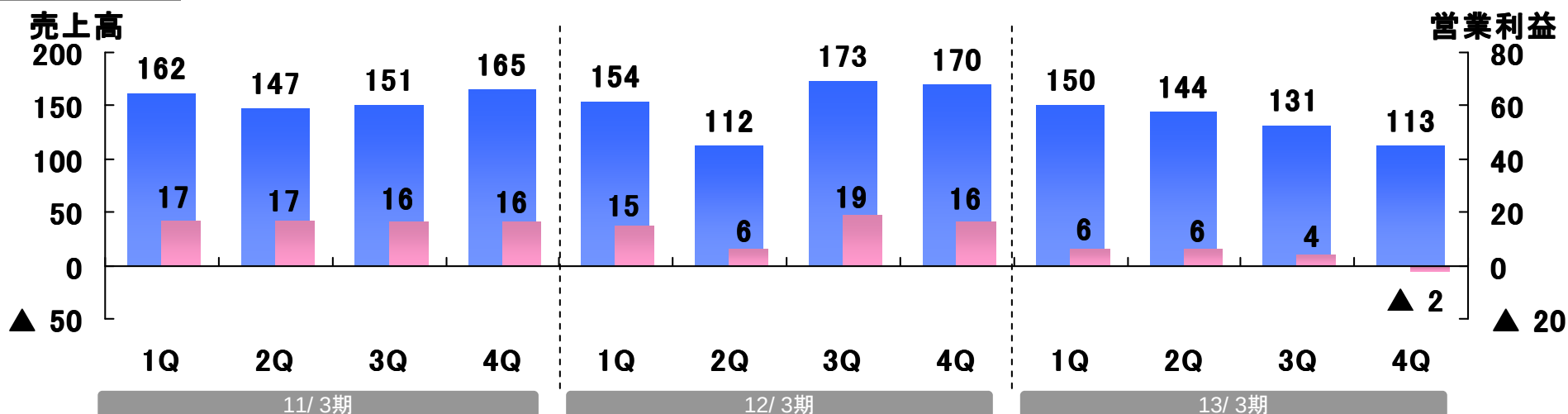
11

欧州

金額単位: 億円



アジア



金額単位:億円
数字横()内はシェア

	13/ 3期 累計 ('12/4-'13/3)	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	対 前期比	
			増減	増減率
※1 トヨタグループ	2,669 (73.1%)	2,647 (71.1%)	+22	+0.8%
スズキ	366 (10.0%)	423 (11.4%)	▲57	▲13.5%
※2 三菱自動車	265 (7.3%)	325 (8.8%)	▲59	▲18.4%
※3 日産グループ	57 (1.6%)	55 (1.5%)	+2	+3.9%
本田技研	44 (1.2%)	43 (1.2%)	+0	+2.0%
富士ゼロックス	86 (2.4%)	68 (1.8%)	+17	+25.7%
その他	161 (4.4%)	156 (4.2%)	+5	+3.6%
合計	3,652 (100%)	3,720 (100%)	▲68	▲1.8%

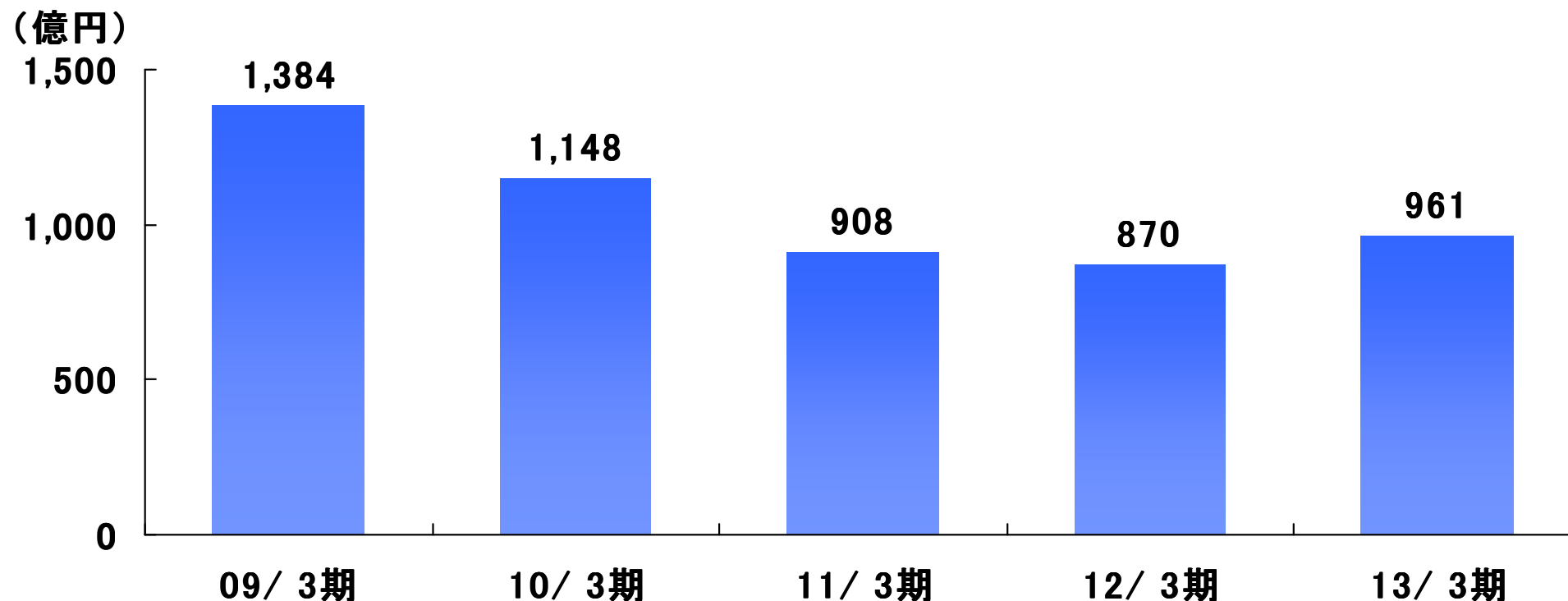
※1 トヨタグループには、ダイハツ、トヨタ車体、日野自動車等を含む。

※2 三菱自動車には、三菱ふそうを含む。

※3 日産グループには、日産車体を含む。

〈連結〉有利子負債残高の推移

13



	09/ 3期	10/ 3期	11/ 3期	12/ 3期	13/ 3期
短期借入金	734	629	393	369	418
1年内返済予定の長期借入金	40	139	126	259	83
長期借入金	457	375	339	189	407
その他	151	4	50	52	53
有利子負債残高	1,384	1,148	908	870	961

個別決算概況

金額単位: 億円

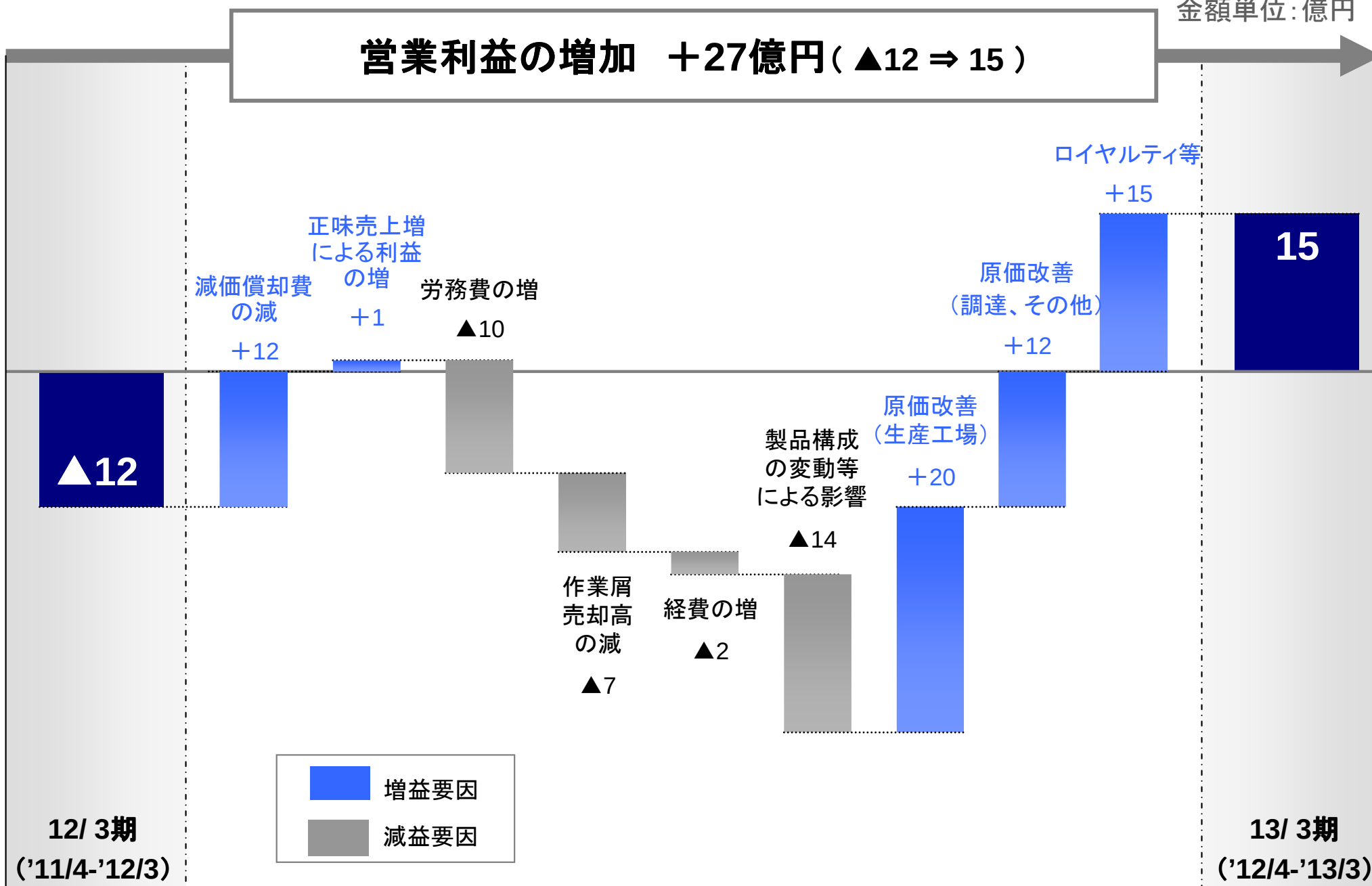
	13/ 3期 累計 ('12/4-'13/3)	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	対 前期比	
			増減	増減率
売上高	2,452	2,518	▲66	▲2.6%
営業利益	15	▲12	+27	—
経常利益	31	▲16	+48	—
当期純利益	▲17	▲32	+14	—

〈個別〉営業利益の増減分析（対 前期比）

16

金額単位：億円

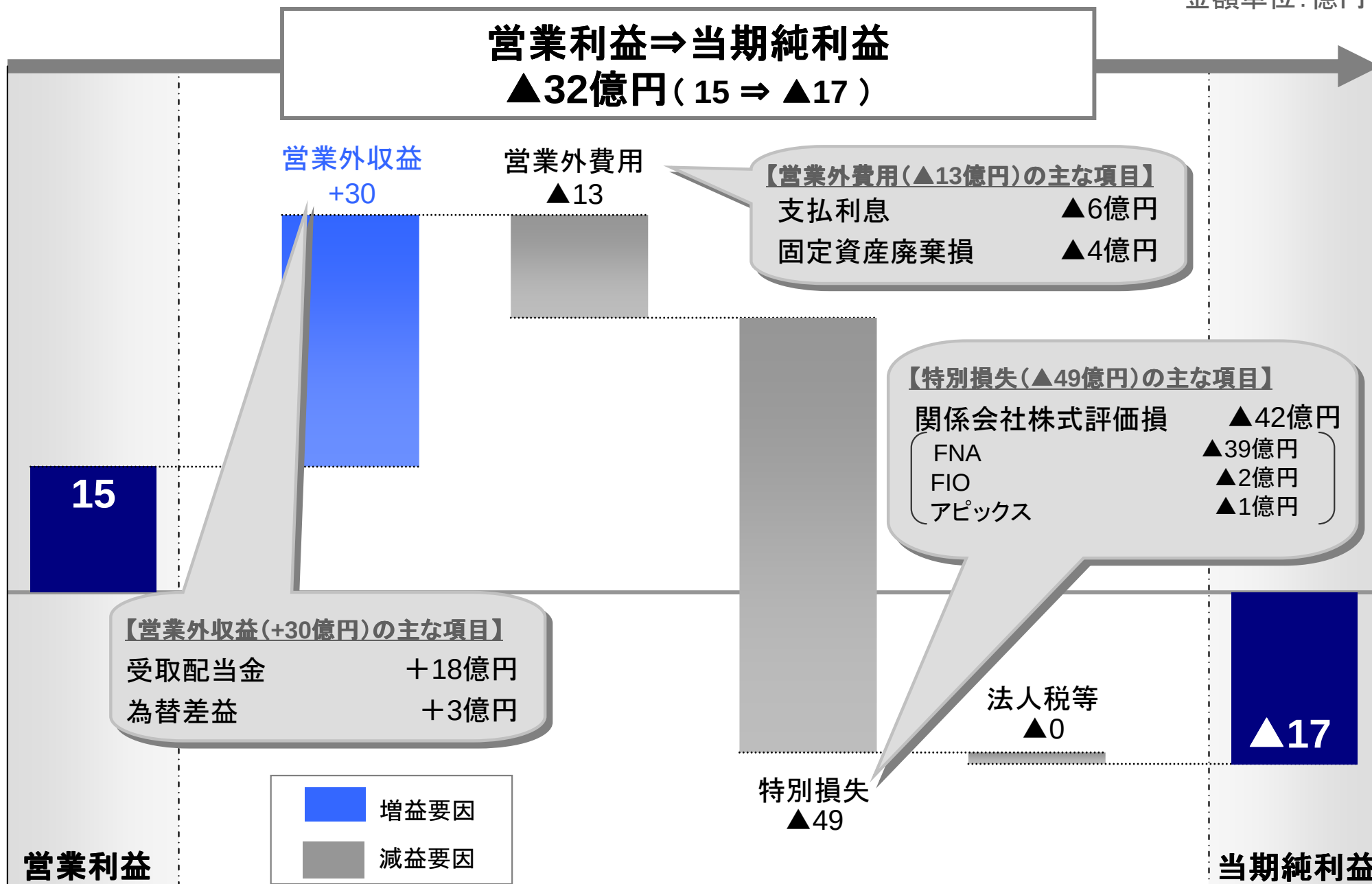
営業利益の増加 +27億円（▲12 ⇒ 15）



〈個別〉営業利益以下の分析

17

金額単位: 億円

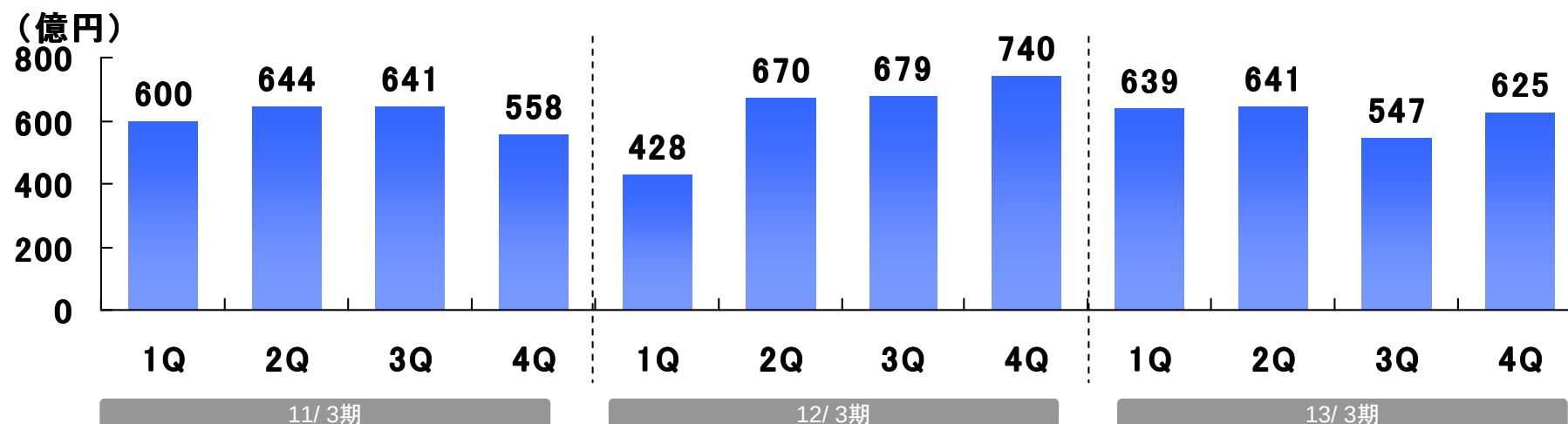


〈個別〉売上高と営業利益の四半期推移

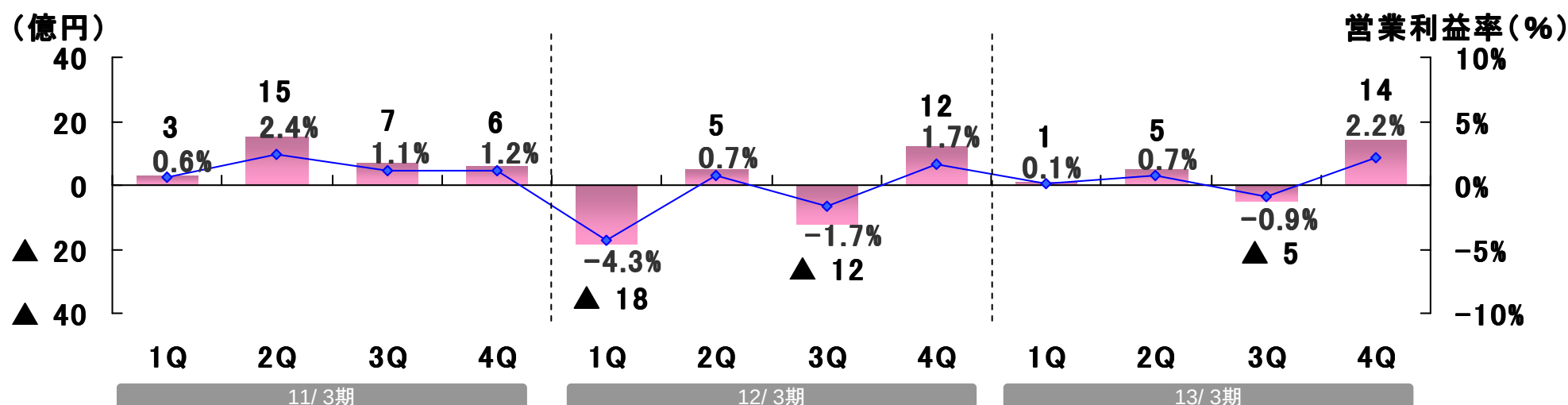
18

◆ 売上高の四半期推移

金額単位: 億円



◆ 営業利益の四半期推移



〈個別〉得意先別売上高

19

金額単位:億円
数字横()内はシェア

	13/ 3期 累計 ('12/4-'13/3)	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	対 前期比	
			増減	増減率
※1 トヨタグループ	1,576 (64.3%)	1,565 (62.2%)	+11	+0.7%
スズキ	257 (10.5%)	292 (11.6%)	▲35	▲12.2%
※2 三菱自動車	255 (10.4%)	324 (12.9%)	▲68	▲21.2%
※3 日産グループ	57 (2.4%)	55 (2.2%)	+2	+3.9%
ホンダ	23 (1.0%)	28 (1.1%)	▲5	▲17.9%
富士ゼロックス	27 (1.1%)	31 (1.2%)	▲3	▲10.3%
その他	253 (10.3%)	220 (8.8%)	+33	+15.2%
合計	2,452 (100%)	2,518 (100%)	▲66	▲2.6%

※1 トヨタグループには、ダイハツ、トヨタ車体、日野自動車等を含む。

※2 三菱自動車には、三菱ふそうを含む。

※3 日産グループには、日産車体を含む。

1. 平成25年(2013年)3月期 決算概況【連結・個別】

2. 平成26年(2014年)3月期
通期業績見通し【連結・個別】

3. これまでの振り返りと今後の動向

連結業績見通し

金額単位: 億円

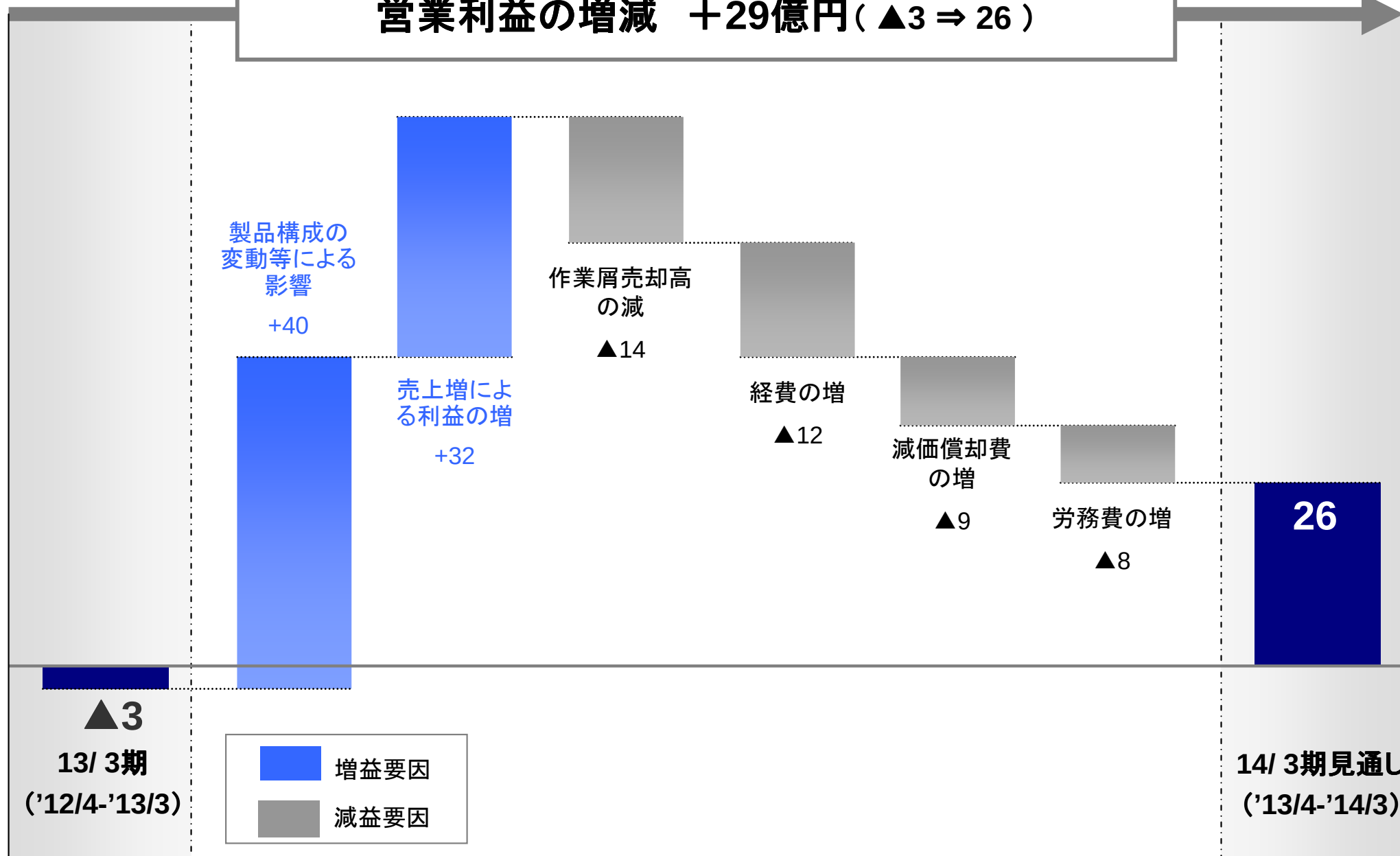
	14/ 3期 通期見通し	13/ 3期 通期実績	対 前期比	
			増減	増減率
売上高	3,770	3,652	+118	+3.2%
営業利益	26	▲3	+29	—
経常利益	14	▲11	+25	—
当期純利益	1	▲40	+41	—
為替レート (1ドル)	95円	83円	12円の円安	

〈連結〉営業利益の増減分析見通し

23

金額単位: 億円

営業利益の増減 +29億円 (▲3 ⇒ 26)

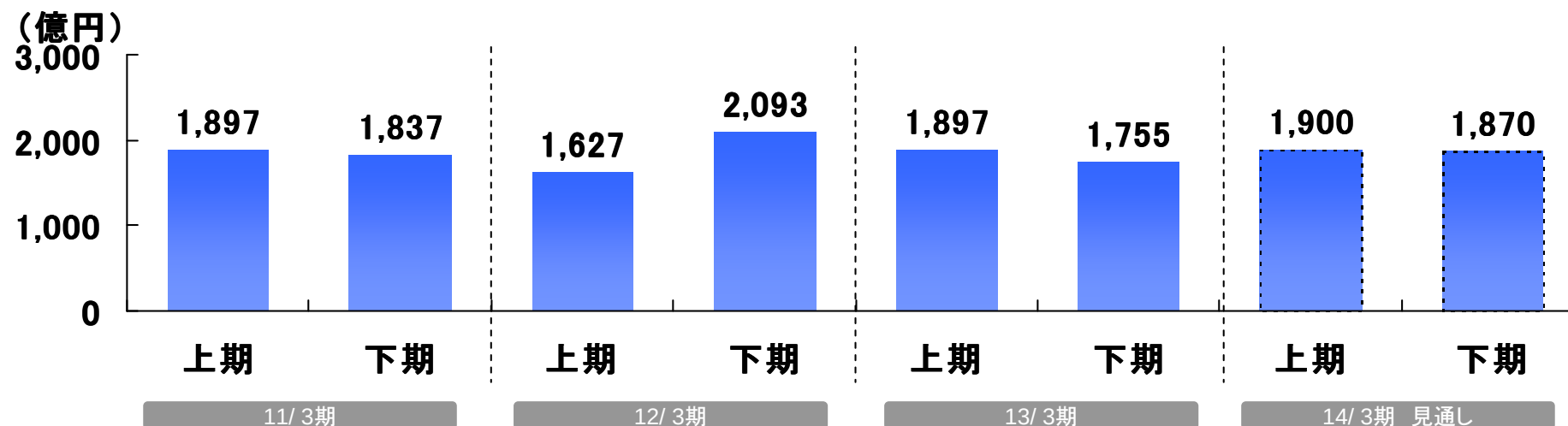


〈連結〉売上高と営業利益の推移見通し

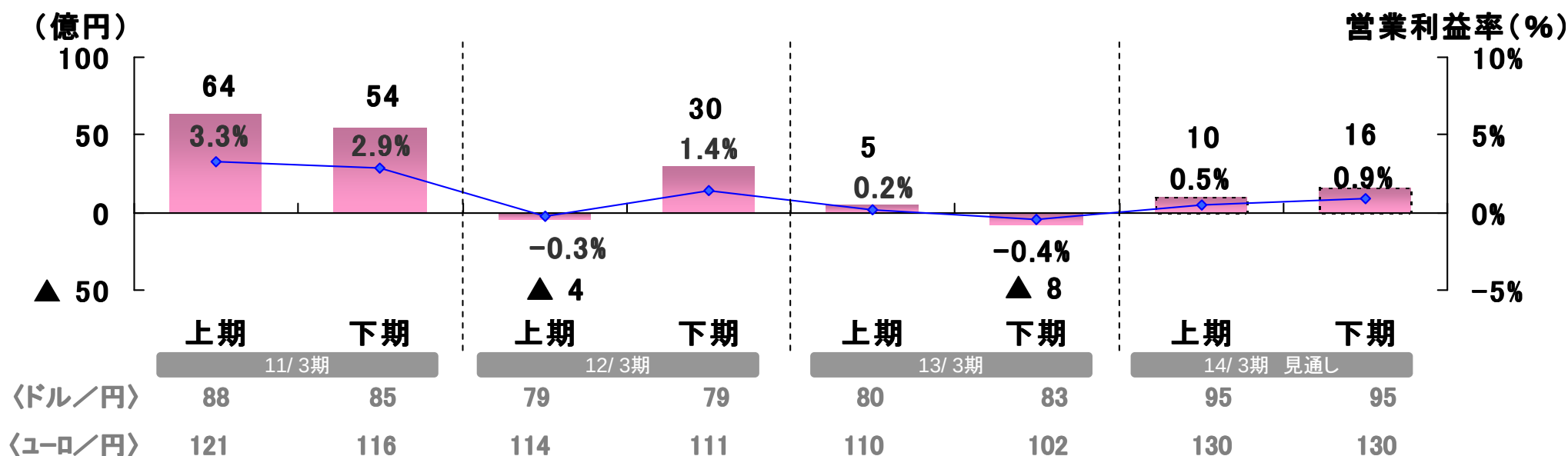
24

◆ 売上高推移見通し

金額単位: 億円



◆ 営業利益推移見通し



〈連結〉地域別売上高と営業利益見通し

25

金額単位: 億円

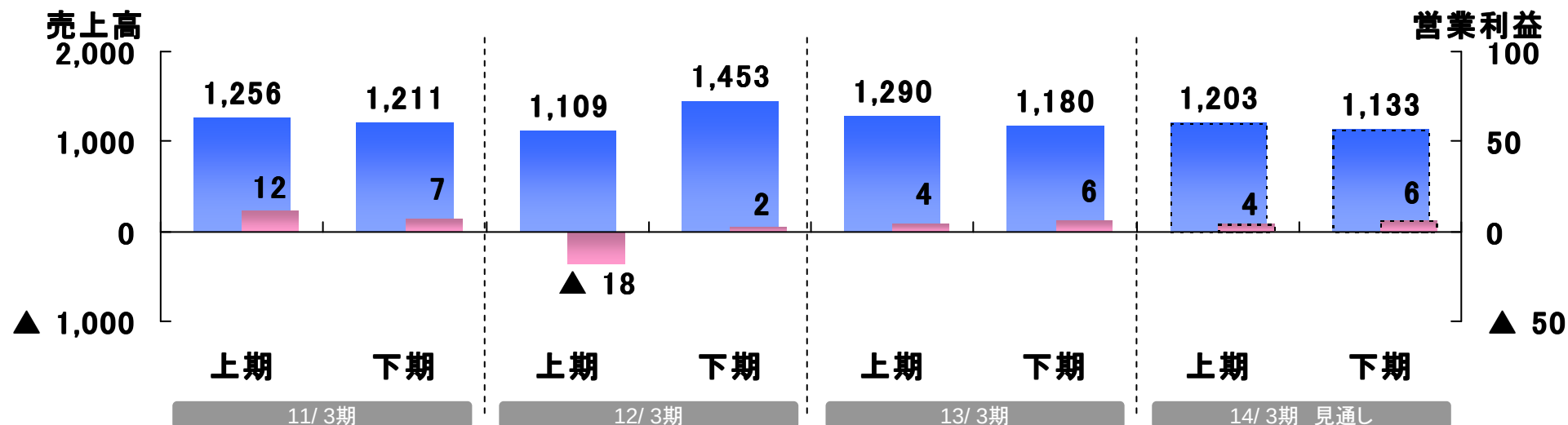
		14/ 3期 通期見通し	13/ 3期 通期実績	対 前期比	
				増減	増減率
日本	売上高	2,336	2,470	▲134	▲5.7%
	営業利益	10	10	0	—
北米	売上高	663	591	+72	+10.8%
	営業利益	5	▲22	+27	—
欧州	売上高	227	186	+41	+18.0%
	営業利益	▲9	▲7	▲2	—
アジア	売上高	688	538	+150	+21.8%
	営業利益	20	14	+6	+30.0%
連結調整	売上高	▲144	▲134	▲10	—
	営業利益	0	1	▲1	—
合計	売上高	3,770	3,652	+118	+3.2%
	営業利益	26	▲3	+29	—

〈連結〉地域別業績推移見通し

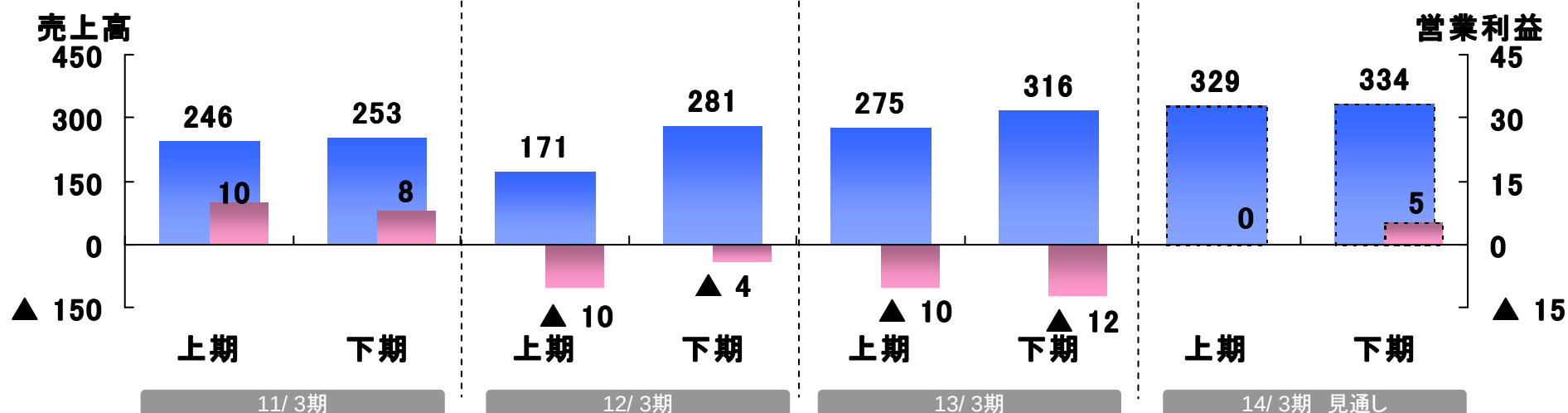
26

日 本

金額単位: 億円



北 米

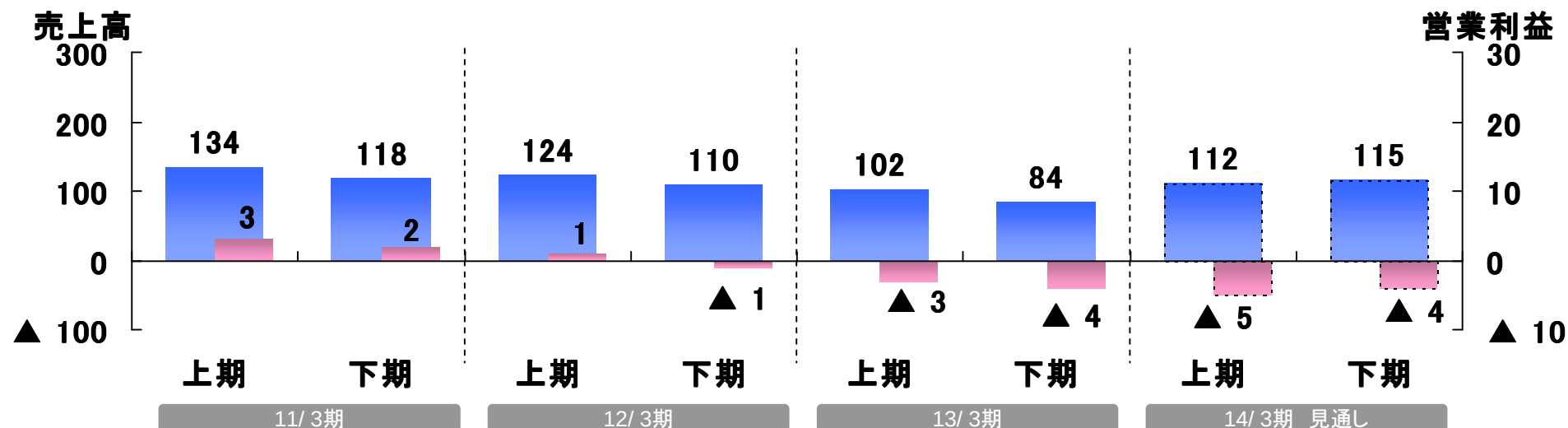


〈連結〉地域別業績推移見通し

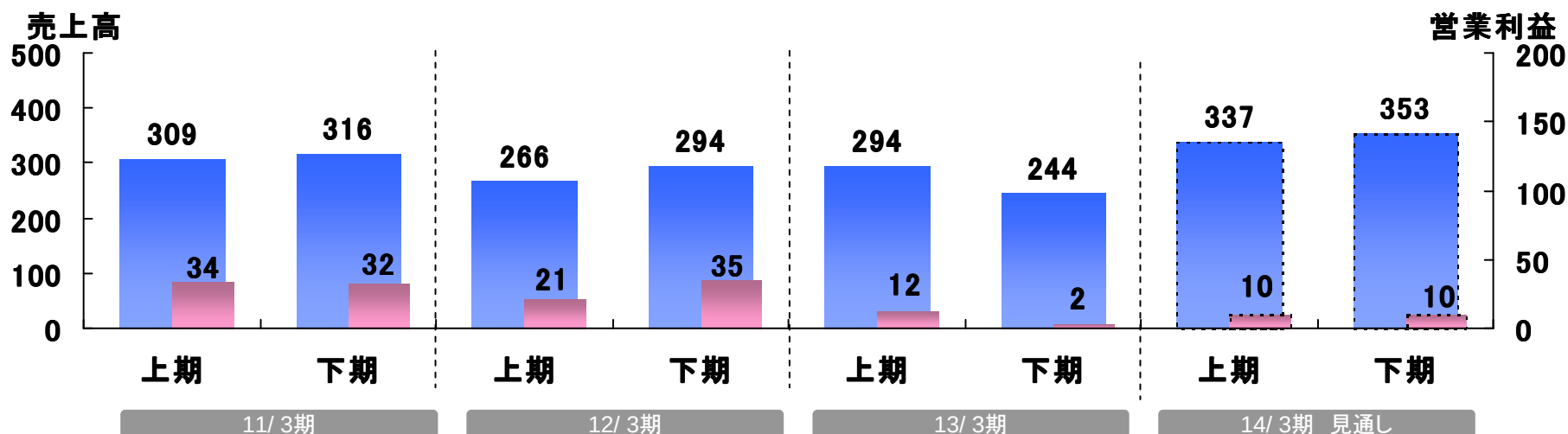
27

欧州

金額単位: 億円



アジア



個別通期業績見通し

金額単位: 億円

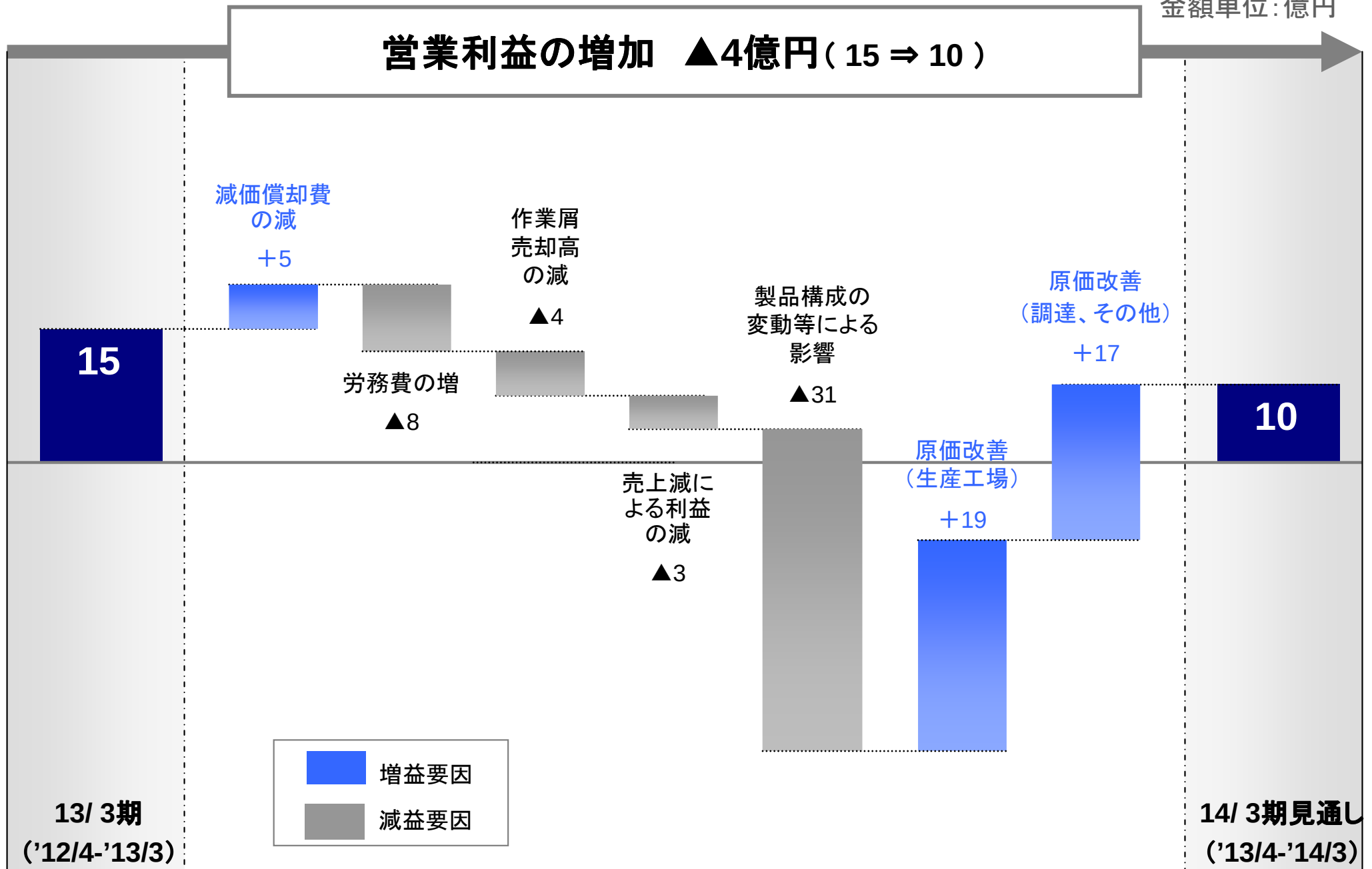
	14/ 3期 通期見通し	13/ 3期 通期実績	対 前期比	
			増減	増減率
売上高	2,330	2,452	▲122	▲5.2%
営業利益	10	15	▲4	▲42.8%
経常利益	28	31	▲3	▲10.7%
当期純利益	28	▲17	+45	—

〈個別〉営業利益の増減分析見通し

30

金額単位: 億円

営業利益の増加 ▲4億円 (15 ⇒ 10)

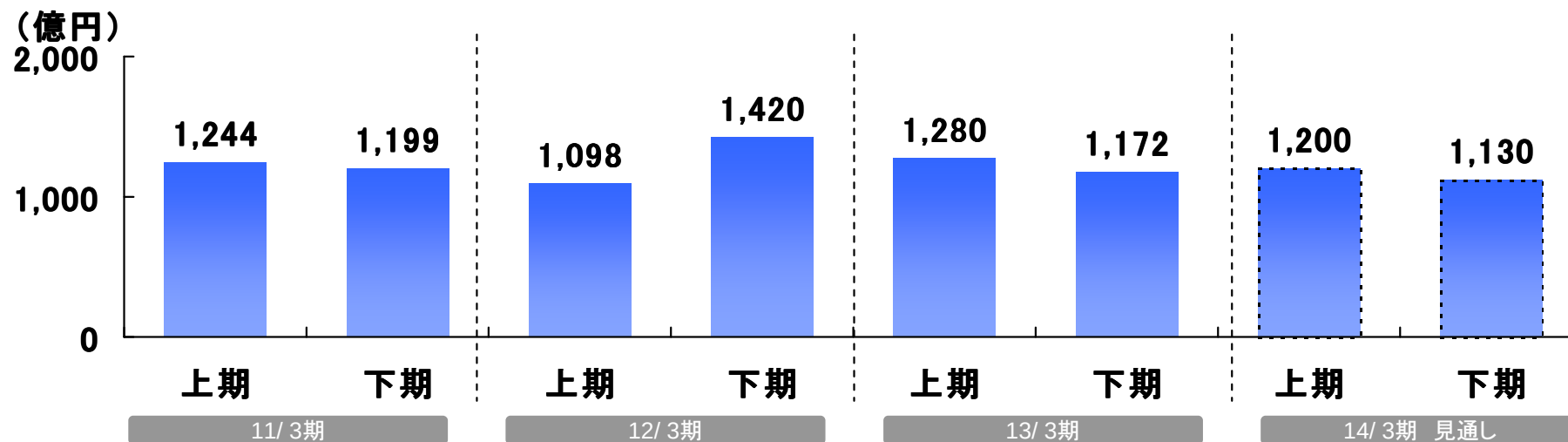


〈個別〉売上高と営業利益の推移見通し

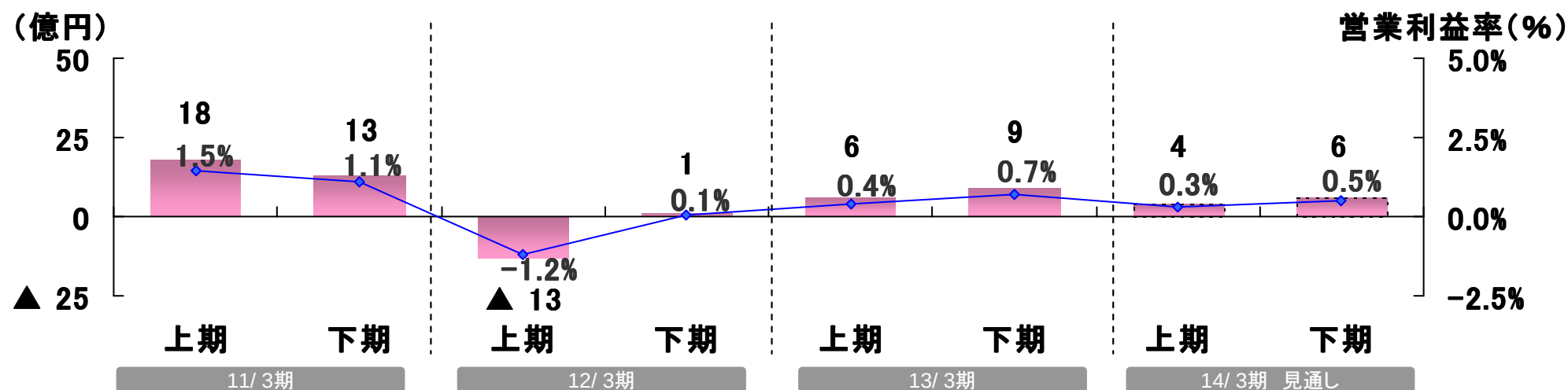
31

◆ 売上高推移見通し

金額単位: 億円



◆ 営業利益推移見通し



1. 平成25年(2013年)3月期 決算概況【連結・個別】

2. 平成26年(2014年)3月期
通期業績見通し【連結・個別】

3. これまでの振り返りと今後の動向

これまでの振り返りと今後の動向

- 1、収益改善活動
- 2、フタバNGA活動
- 3、海外拠点情報

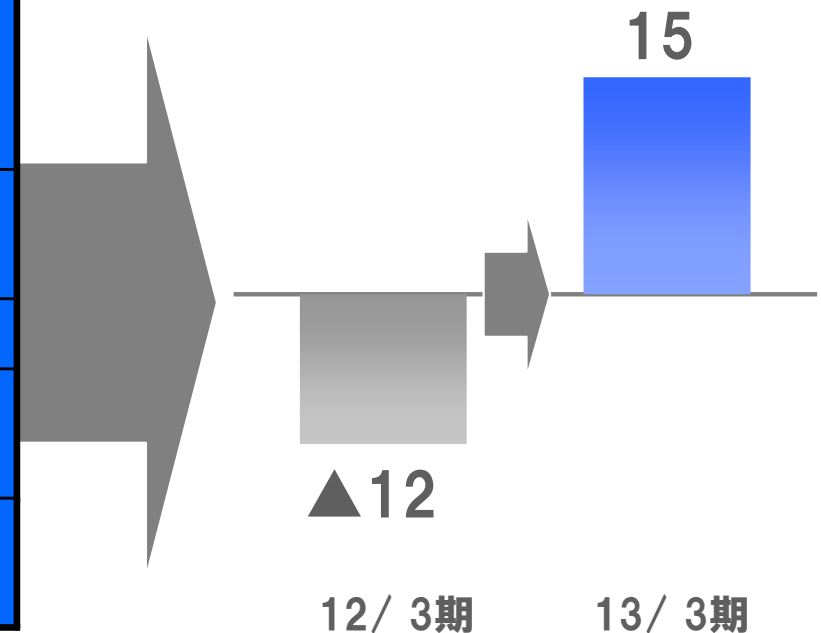
・全社収益改善委員会を発足し、全社をあげて体質改善に取り組んだ。
⇒フタバ本体での営業黒字化を達成した。

全社収益改善委員会の成果

推進項目	結果を出した内容
サプライチェーン整流化	外製工程の取り込み (ブランク・洗浄・造管切断) 遠距離物流費削減
生産ラインの シンプル・スリム・コンパクト化	シンプル化118ラインの実施 生産性15%向上
工程内不良・不良廃却削減	作り方の大幅見直し
改善状況の確認	原価管理 改善結果の把握
TPS	改善意識の強化 生産性向上・不良削減

本体の営業利益

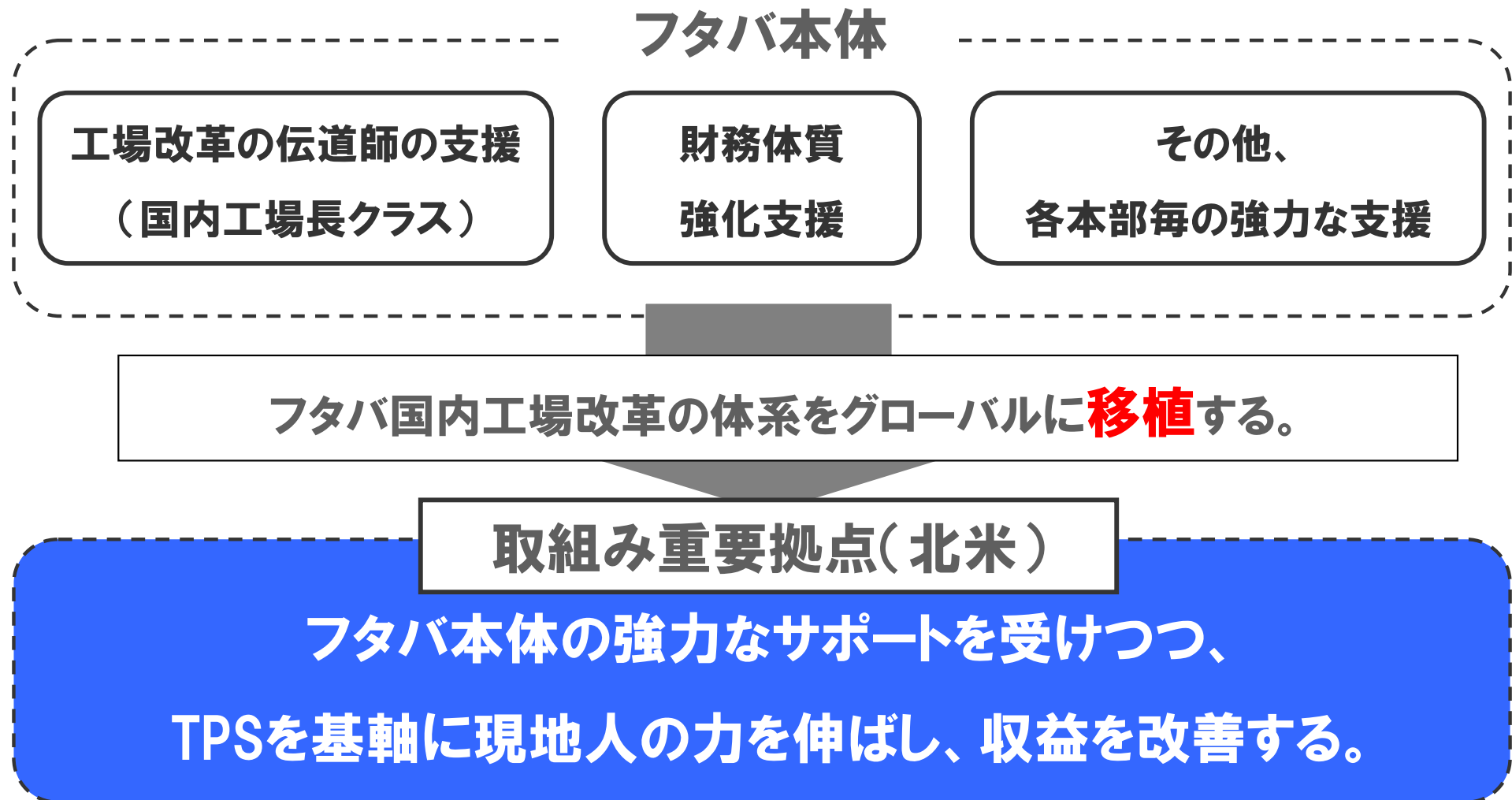
+27億円の大幅改善



今後は、フタバ本体での一層の改善と海外を含めたグローバルフタバでの体質改善を徹底的に進め、連結での黒字化を目指す。

◆グローバル収益改善 ～国内工場改革の体系のグローバル移植～

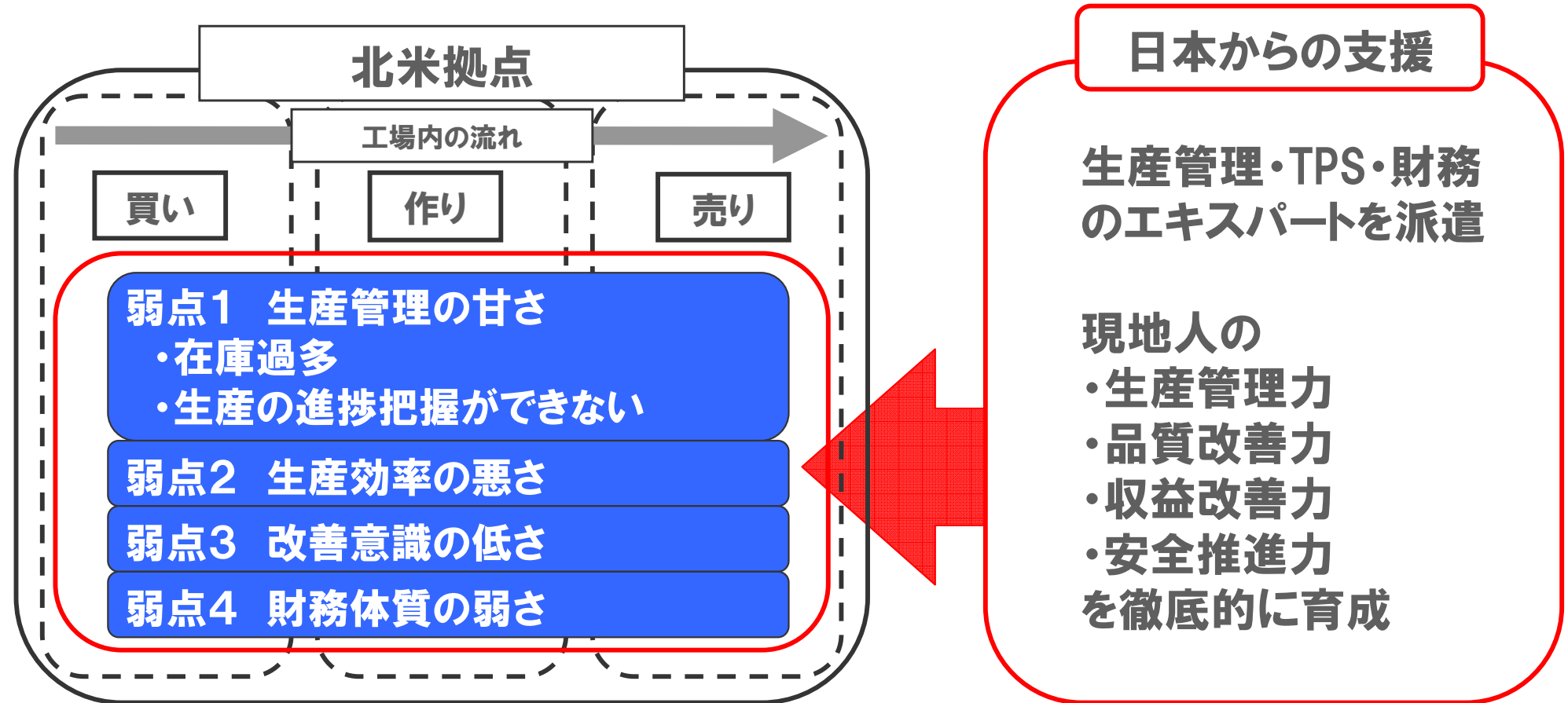
特に収益の悪化している北米を最重要拠点とし、
フタバ本体からの強力なサポートで改善活動を進めていく。



1、収益改善活動

36

◆グローバル収益改善 ～国内工場改革の体系のグローバル移植～ 【北米拠点弱点への集中支援】



今後、北米だけでなく、各拠点に国内と同様の**企業風土**を作り上げる

グローバルフタバでの収益黒字化へ

・トヨタ自動車(株)のTNGA活動への対応として、フタバNGA活動を開始した。
⇒社内での各部署間の連携が強化され、お客様のご要望に迅速・的確に
応えるための体制作りを進めた。
今後は、深掘りと横展開を進め、受注に繋げていく。

トヨタ自動車(株)のTNGA活動とは

想い【もっといいクルマをつくらうよ】

Toyota New Global Architecture

商品力向上

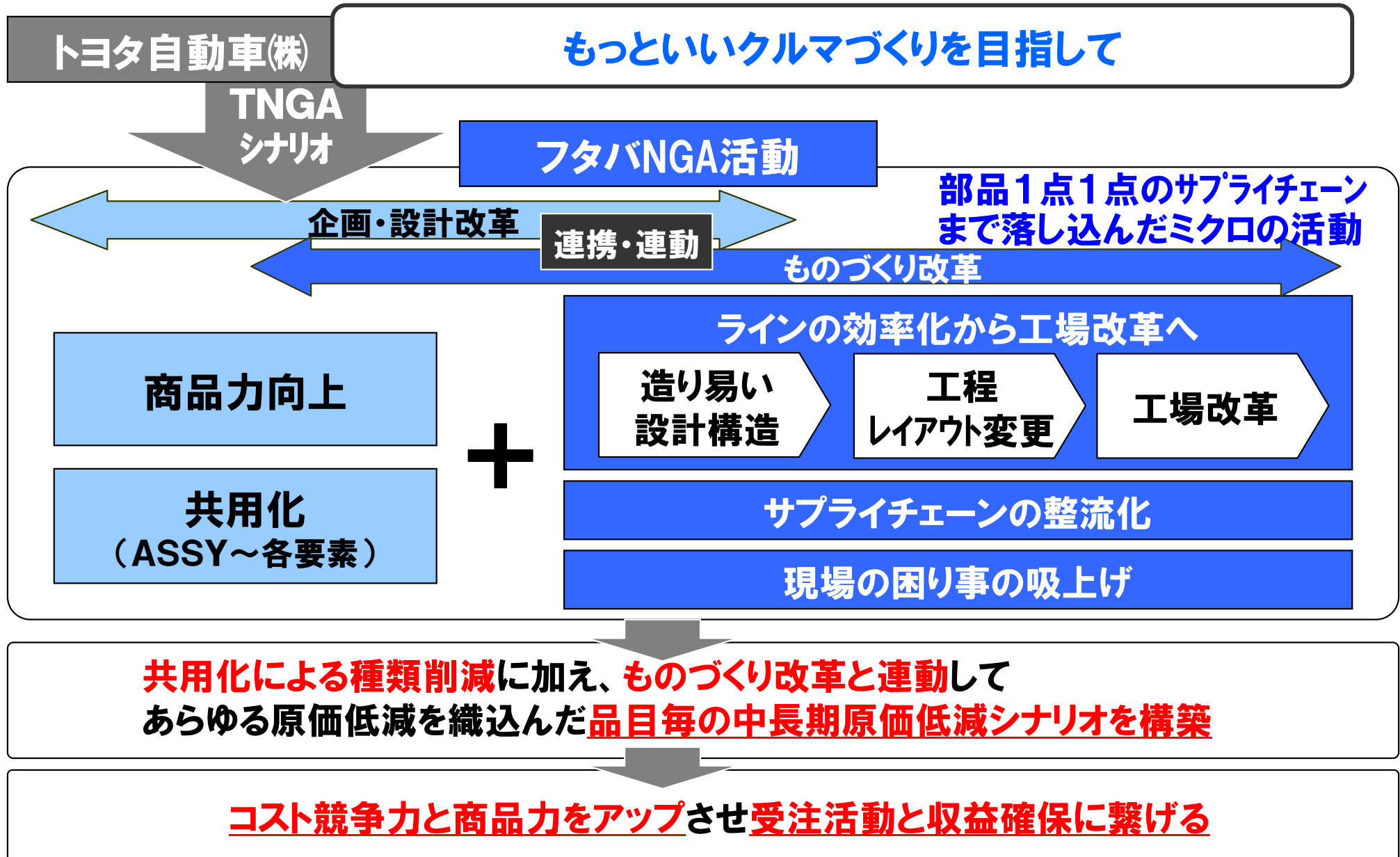
原価低減

同時に達成する

グルーピング開発による部品共用化

- ◆部品の種類が減る＝リソース削減 ⇒ 商品力向上
- ◆スケールメリット ⇒ 価格競争力アップ
- ◆サプライヤーの製造ラインも変わる ⇒ 見えない原価低減

◆フタバNGA活動の目指す姿



◆ものづくり改革推進室を新設

狙い

- ・ **次世代革新ライン**を構築する。
- ・ ものづくりを極めて競合他社を凌駕する。

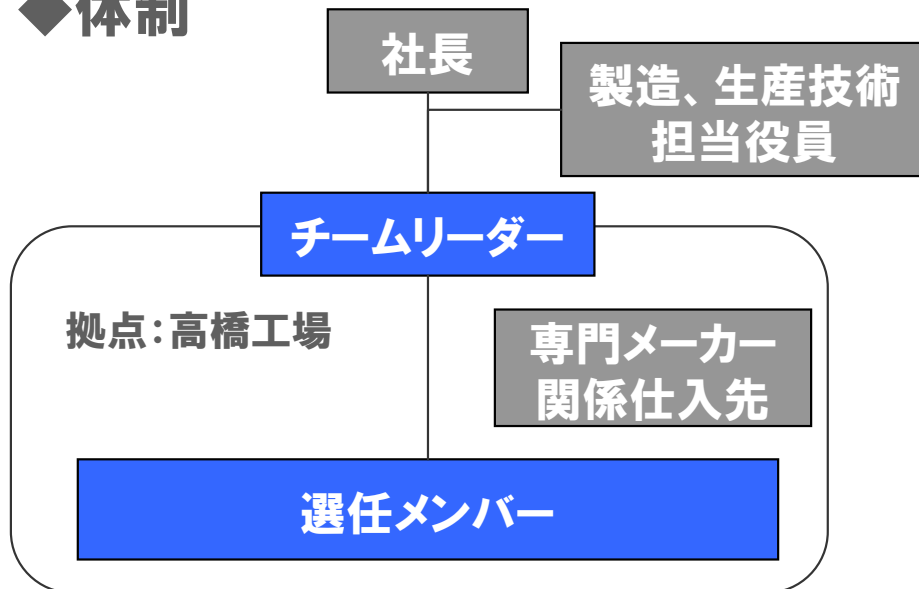
目指す姿

- ・ 人に優しい 安全・安心な生産ライン
- ・ 「いつでも、どこでも、誰でも」高品質を造り込める生産ライン
- ・ 生産リードタイムのミニマム化【内製付加価値の最大化】

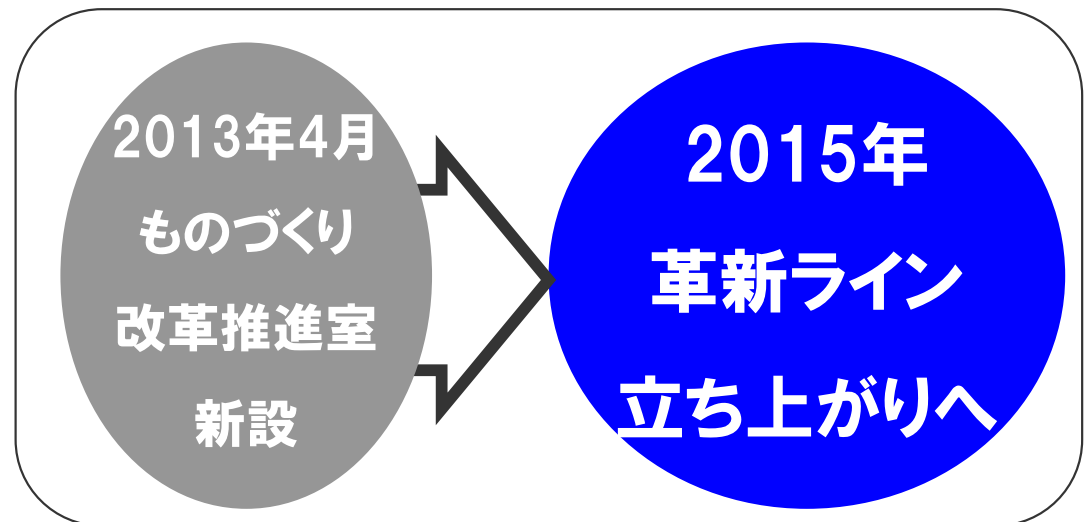
対象部品

- ・ 排気系部品、ボデー部品、内外装部品

◆体制



◆スケジュール



3、海外拠点情報

40

◆中国 長沙双叶 (長沙双叶汽車部件有限公司)

連結子会社

設立:2012年3月

生産開始:2012年12月

主要顧客:広汽三菱(三菱)

生産品目:マフラー、燃料タンク、
サスペンション部品等

備考:サテライト工場

◆中国 重慶福達巴 (重慶福達巴汽車部件有限公司)

連結子会社

設立:2012年11月

生産開始:2013年11月(予定)

主要顧客:長安スズキ(スズキ)

生産品目:サスペンション部品等

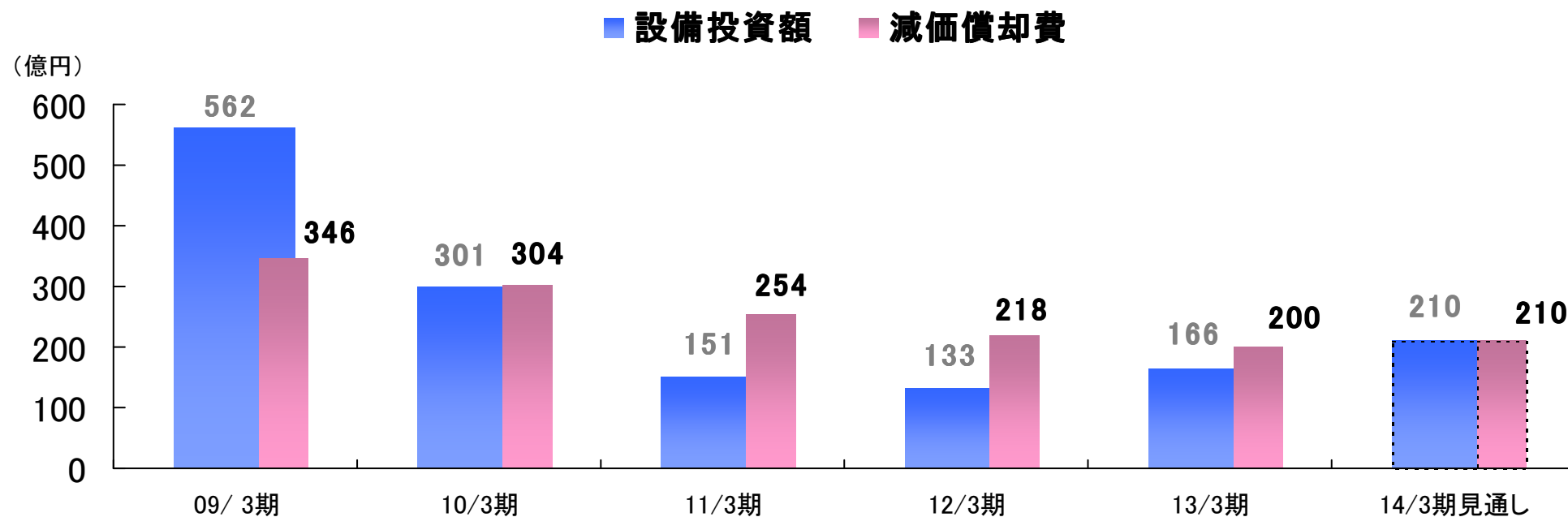
備考:サテライト工場



A map of Bangkok, Thailand, with five callout boxes indicating the locations of Japanese embassies. The boxes are labeled: TMT (Tokyo), SNM (Sendai), YMPD (Yokohama), MMTH (Miyazaki), and SMT (Saitama). The map shows the city of Bangkok, the Chao Phraya River, and various districts including Chitose, Chitose, and Chitose. The YMPD box is highlighted in blue.

参考資料

◆ 設備投資額と減価償却費の推移



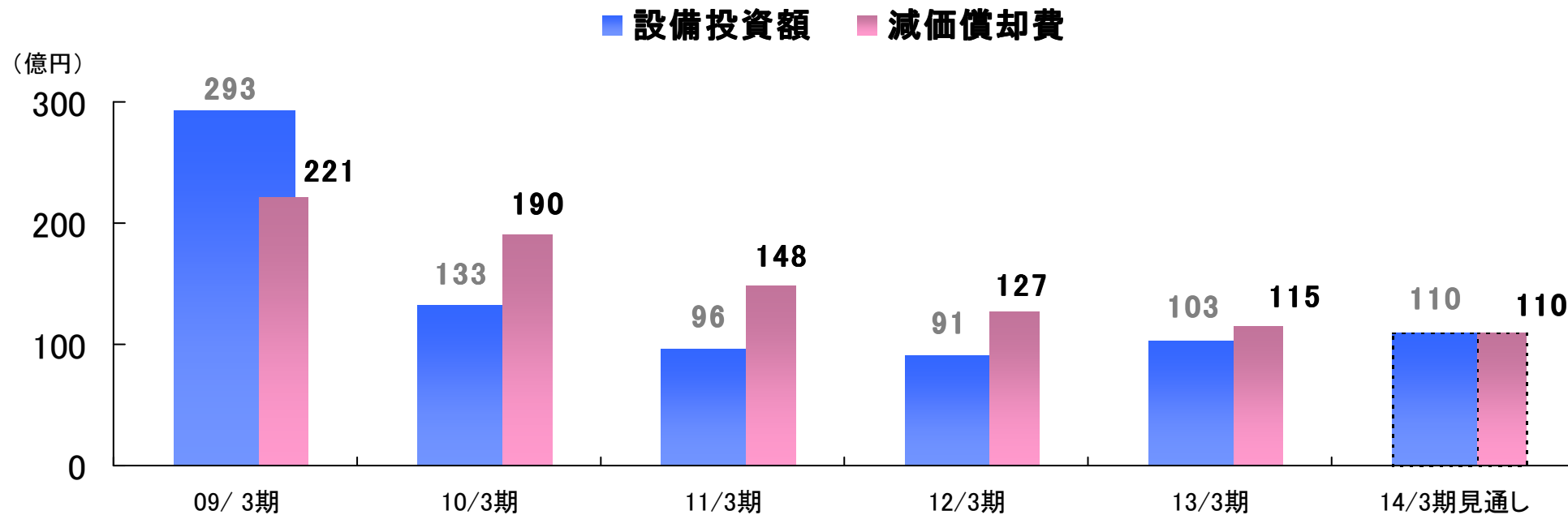
金額単位: 億円

	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期 見通し
設備投資額	562	301	151	133	166	210
減価償却費	346	304	254	218	200	210

〈個別〉設備投資額と減価償却費の推移

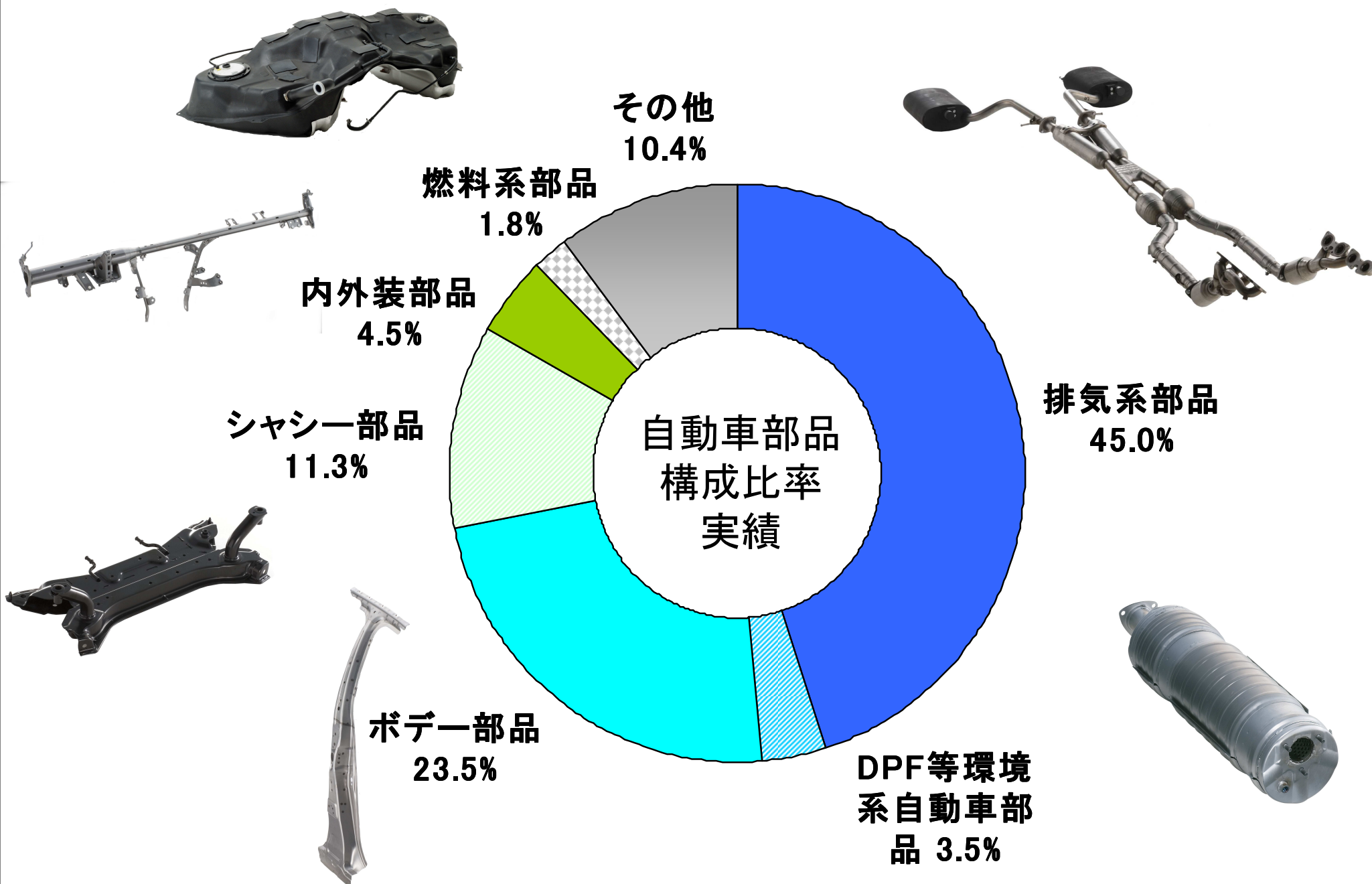
44

◆ 設備投資額と減価償却費の推移



金額単位: 億円

	09/3期	10/3期	11/ 3期	12/3期	13/3期	14/3期 見通し
設備投資額	293	133	96	91	103	110
減価償却費	221	190	148	127	115	110



本資料に記載される当社（連結子会社を含む）の見通し等は、当社が現在入手している情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従って、これらの業績見通し等のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い申し上げます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

本資料に掲載のあらゆる情報はフタバ産業株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに、複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。

FUTABA

フタバ産業株式会社

<http://www.futabasangyo.com/>